

平成28年度進行管理・評価シート
宇治市歴史的風致維持向上計画（平成24年3月5日認定）
（最終変更平成28年3月30日）

進捗評価シート(様式1)

組織体制(様式1-1)	
1 宇治市歴史的風致維持向上協議会の開催	1
重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	
2 景観形成助成制度の啓発	2
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)	
1 史跡整備事業	3
2 情報発信・観光交流施設整備事業	4
3 重要文化的景観保存事業	5
4 歩道整備事業	6
5 歩行空間整備事業	7
6 観光施設周辺浸水対策事業	8
7 建物修景助成事業	9
8 屋外広告物助成事業	10
9 宇治茶園支援事業	11
10 宇治茶品質向上事業	12
11 宇治茶普及啓発事業	13
12 市営茶室対鳳庵活用事業	14
13 宇治川鶺鴒助成事業	15
14 宇治十帖スタンプラリー開催	16
15 京都・宇治灯り絵巻の開催	17
16 文化財見学会	18
17 歴史・文化啓発事業	19
18 文化的景観整備計画策定調査	20
19 観光交通対策検討調査	21
20 空き町家の活用検討調査	22
21 観光周辺道路の整備検討調査	23
文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)	
1 文化財の修理(整備を含む)	24
2 文化財の防災	25
3 文化財の保全及び活用の普及・啓発	26
4 埋蔵文化財の取扱い	27
5 文化財の保存・活用に関わる 住民・NPO等の各種団体の状況及び今後の体制整備	28
効果・影響等に関する報道(様式1-5)	
1 災厄封じ宇治川へ 初夏のまちで勇壮な馳せ馬 勇壮に悪疫退散を祈願	29
2 まち歩きに胸躍らせる 宇治十帖スタンプラリー開始 秋の宇治 歩いて満喫 スタンプラリー開催	30
法定協議会等におけるコメントシート(様式4)	31

評価軸 -1
組織体制

	評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況
宇治市歴史的風致維持向上協議会の開催		実施済 実施中 未着手

計画に記載している内容 計画の進捗管理や計画の変更・追加について、関係課で組織する「歴史まちづくり推進調整会議」を開催し、内意見を調整し、「宇治市歴史的風致維持向上協議会」に意見を伺うこととする。

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

学識経験者、文化財所有者、各種関係団体及び行政関係者により構成される、宇治市歴史的風致維持向上協議会を開催し、計画の進行管理・評価などについて、意見を聞くことができた。

【定量的評価】

宇治市歴史的風致維持向上協議会の開催回数 : 1回

進捗状況 計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
計画どおり進捗している 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

宇治市歴史的風致維持向上協議会の開催状況

実施期間	種別	検討事項等
平成28年5月23日	第1回 歴史的風致維持向上協議会	【内 容】 1 歴史的風致維持向上計画の進行管理・評価について 2 歴史的風致維持向上計画の軽微な変更について 3 その他



宇治市歴史的風致維持向上協議会開催の様子

評価軸 -1
重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	平成28年度 現在の状況
景観形成助成制度の啓発		実施済 実施中 未着手

計画に記載している内容
「宇治市景観計画」においては、「悠久の歴史と自然を今に活かしふるさと宇治を誇り伝えん」とした基本理念のもと、市内全域を景観計画区域とし、8つに区分されたそれぞれの区域ごとに景観形成誘導指針及び屋外広告物に関する行為の制限を示している。

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

本市は、宇治市景観計画重点区域内において、良好な景観の形成に著しく寄与する建築物や屋外広告物の整備に対して助成を行うこととしている。景観重要公共施設の沿道の助成対象区域において景観形成助成制度の啓発チラシにより、制度の周知をすすめた。また、屋外広告物助成事業については、市の広報紙「市政だより」による周知も行った。

進捗状況 計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
計画どおり進捗している 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

屋外広告物の改善費を助成

- 屋外広告物の設置、除却に係る工事費で、著しく景観に寄与するもの(ただし、年度内に完了し、年度内に検査を受けられるもの)に助成します。
- ◆対象区域…景観計画重点区域
 - ◆交付額…工事費の2分の1以下(限度額50万円)
 - ◆補助件数…予算額の上限に達するまで
 - ◆申し込み…4月18日(月)~12月16日(金)に、歴史まちづくり推進課へ。

問歴史まちづくり推進課

市政だよりによる記事



景観のお知らせ

当該地区は、宇治市景観計画重点区域に含まれ、特に景観に配慮を要する地域です。つきましては、良好な景観形成を目指して下記の内容に留意していただきます。

①景観形成助成制度が利用できます。

建築物、工物(門・扉など)、屋外広告物の新設・改修工事や設備機器の目隠しなど、**景観の形成に著しく寄与する**と認められる場合、**景観計画**内において経費の一部を助成します。詳細については、歴史まちづくり推進課窓口又はホームページにてご確認ください。

- 助成対象区域(景観、景観形成助成対象区域等)
- ・建築物、工物(門・扉など) →宇治市景観計画重点区域内の矢印で示す路線沿道
- ・屋外広告物 →宇治市景観計画重点区域内

- 受付場所
- ・宇治市役所歴史まちづくり推進課(6階)

- 受付期間

平成28年4月18日から平成28年12月16日まで(土・日・祝日を除く)。ただし、平成28年3月上旬までに工事が完了することが確実なものについては、受付期間を過ぎても受付を行う場合があります。

- 受付時間

午前8時30分から午後5時15分まで(正午から午後1時までを除く)。

- その他

申請時には、景観形成助成金交付申請書とともに関係書類を添えて提出してください。(関係書類については、裏面に記載してください)

※宇治市ホームページ・宇治市トップページ・暮らしの情報>まちづくり>宇治市の景観>景観形成助成制度

②建物の色の塗り替えでも届出が必要です。

建築物の新築・増築や工物等の新設・増設はもちろん、たとえ同じ色への外壁の塗り替えであっても、軽率なものでない限り、事前に届出・届出が必要となります。また、外壁や屋根などに使用できる色には**基準があり**、マンセル色という数値での基準を定めています。※行為に係る部分の高さが5m以下かつ軒深・行深が1.0m以下

③屋外広告物(看板等)にもルールがあります。

屋外広告物(看板等)を掲出するには事前に許可が必要です。また、市内全域で屋外広告物の大きさ・色については基準があります。色については、マンセル値による基準を定めています。

上記以外にも、建築物等の**外観を重要とする**行為を計画されるときには、**景観計画**に基づき推進課までご相談ください。基準から外れたものが出来あがった場合、基準に合ったものに変更していただくことがあります。

宇治市のホームページにも詳しく掲載しています。

宇治市ホームページ・宇治市トップページ・暮らしの情報>まちづくり>宇治市の景観 または 屋外広告物

連絡先 宇治市役所 歴史まちづくり推進課 景観係(本庁舎6階)
TEL 0774-20-8918(直通)、22-3141(代)

助成対象区域で配布した啓発チラシ

評価軸 - 1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況
史跡整備事業		実施済 実施中 未着手

事業期間 平成25年度～平成31年度

支援事業名 歴史生き生き！史跡等総合活用整備事業

計画に記載している内容 壮大な築堤状況が体感できる空間整備と茶園景観の修景とを一体的に行い、多くの市民や来訪者に本市の歴史・文化の総合的理解を促す。

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

史跡整備事業は、機能時と埋没時の宇治川太閤堤を再現し、太閤堤の果たした役割と歴史の重層性を表現することとしている。今年度は、機能時の様子を再現するAゾーンの遺構再現パネルの設置、Bゾーンの遺構再現部の実施設計を行った。

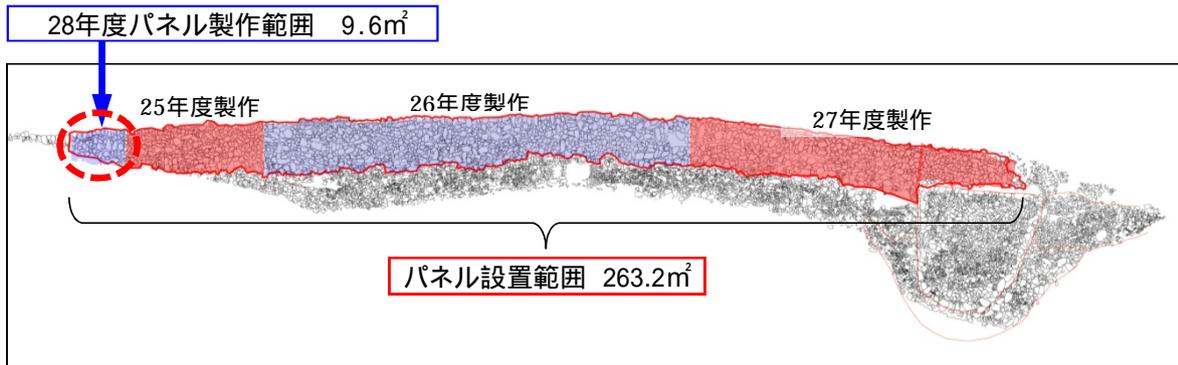
Aゾーンは機能時の太閤堤の護岸施設と宇治川を再現する。遺構再現では、太閤堤の石張り部をGRCパネル、石積み部を遺構と同種の石と杭で再現する。平成28年度は9.6㎡のGRCパネル製作と263.2㎡のGRCパネル設置を行った。

Bゾーンは砂に埋もれた太閤堤の護岸施設と、砂州で営まれた茶園景観を復元整備する。平成28年度は、市民参加による茶樹の植樹を行った。設計は宇治川太閤堤跡保存整備委員会の指導を受けながら検討して実施した。またパンフレットの配布やフォーラムの開催によって、市民や来訪者に本市の歴史・文化の理解深めていただけるよう取り組んだ。

進捗状況 計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



石積み護岸の石張り部を再現したGRCパネル
(平成29年2月)



Bゾーンの茶園景観再現部のパース図

		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
情報発信・観光交流施設整備事業		実施済 実施中 未着手	

事業期間 平成27年度～平成31年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)

計画に記載している内容 史跡宇治川太閤堤跡の隣接地において、市民と来訪者が利用できる、宇治の歴史や文化を情報発信する施設の整備を行う。当該事業により、宇治橋周辺地域の散策ルートの起点となる場所が確保され、来訪者の目的に応じたまちなか散策を円滑に誘導すると同時に、宇治の歴史や文化を総合的かつ分かりやすく伝えることができる。

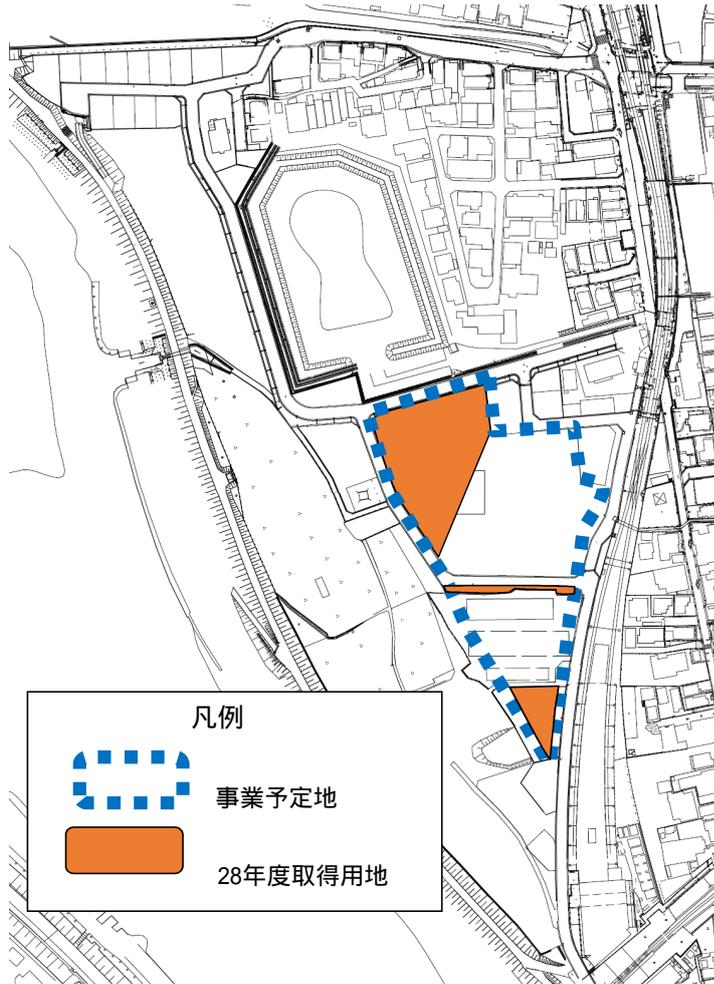
定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で
施設整備に先立ち、社会資本整備総合交付金の交付を受け、用地取得を行った。

[定量的評価]
平成28年度取得面積:3307.13㎡

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している 計画どおり進捗していない	用地再取得については、計画どおり進捗しているが、施設整備費については現在予算化されていないことから、事業計画に遅れが生じる可能性があり、今後、スケジュールの見直しが必要となる。
-----------------------------	--

状況を示す写真や資料等



位置図

進捗評価シート		(様式1-3)	
評価軸 - 3			
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項			
項目		評価対象年度	平成28年度
		現在の状況	
重要文化的景観保存事業		実施済 実施中 未着手	
事業期間	平成24年度～		
支援事業名	文化的景観保護推進事業国庫補助		
計画に記載している内容	重要構成要素の修理事業を実施し、積極的な活用を図ることにより、賑わいのある沿道景観の魅力向上や伝統的な茶業の継承に寄与する。		
定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で			
重要文化的景観「宇治の文化的景観」の景観重要構成要素である「旧京都府茶業会議所建物」の修理を実施した。			
【定量的評価】 景観重要構成要素の届出建物修理修景事業の実施件数：1件			
進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
計画どおり進捗している	計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等			
 <p>旧茶業会議所(施工前) (平成26年11月)</p>		 <p>旧茶業会議所(施工後) (平成29年1月)</p>	
 <p>旧茶業会議所(施工前) (平成26年11月)</p>		 <p>旧茶業会議所(施工後) (平成29年1月)</p>	

		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
歩道整備事業		実施済 実施中 未着手	

事業期間	平成21年度～平成33年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金(道路事業)

計画に記載している内容 史跡公園と宇治川周辺の歴史・文化資源を結ぶ道路であり、歩道を整備することで、来訪者が歴史に触れながら安心して散策できる快適な歩行空間を確保でき、宇治川周辺の回遊性の向上につながる。

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

歩道整備事業(L=100m)の実施により、来訪者が歴史に触れながら安心して散策できる快適な歩行空間を確保できた。

進捗状況 計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
計画どおり進捗している 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



【整備前】(平成22年5月)
歩車分離ができていない



【整備後】(平成29年3月)
来訪者が安全に快適に歩行できる空間を確保

評価軸 - 5
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成28年度 現在の状況
----	--------	-----------------

歩行空間整備事業		実施済 実施中 未着手
----------	--	-------------------

事業期間	平成24年度～平成31年度	
------	---------------	--

支援事業名	平成24年度～平成28年度:市単独事業 平成27年度～平成31年度:社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)	
-------	--	--

計画に記載している内容	史跡公園と宇治川周辺の歴史・文化資源や白川集落を結ぶ道路に歩行空間を整備することで、来訪者が歴史に触れながら安心して散策できるようになり、回遊性の向上につながる。	
-------------	---	--

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で
 平成28年度は、宇治川周辺の回遊性につながる散策路の1つである宇治233号線の整備に向けて、測量設計業務に着手した。

進捗状況 計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
---------------	--------------------------

計画どおり進捗している 計画どおり進捗していない	
-----------------------------	--

状況を示す写真や資料等



宇治233号線 現況(1) (平成28年4月)



宇治233号線 現況(2) (平成28年4月)

項目	評価対象年度	平成28年度 現在の状況
観光施設周辺浸水対策事業		実施済 実施中 未着手

事業期間 平成27年度～平成31年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 歴史・文化資源や歴史的まちなみの回遊性を確保するとともに、宇治川河畔の参詣や遊覧など歴史的伝統を継承する諸活動が行われている良好な市街地の環境を守る。

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

塔ノ島周辺地域において、塔ノ島排水機場の排水機能等について河川管理者である国土交通省と協議を行うとともに、宇治川改修対策特別委員会において施設整備に係る景観に関する調整を行った。これを受け、塔ノ島第一排水機場の排水機能向上のための工事を一部実施した。

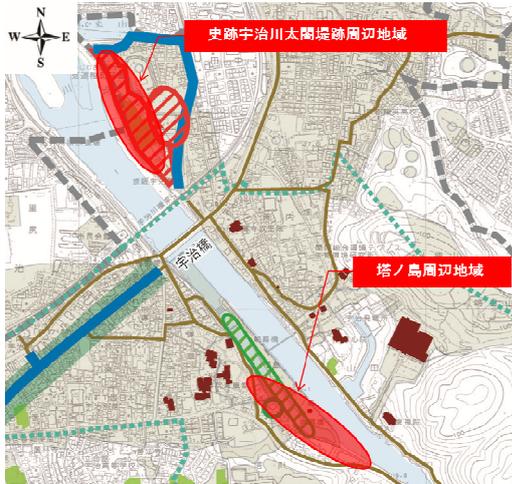
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

塔ノ島周辺地域については、国土交通省が実施されている塔ノ島地区河川改修事業と調整等を行い、塔ノ島第一、第二排水機場の排水機能向上のための工事を実施し、事業期間内の完了を目指す。
また、史跡宇治川太閤堤跡周辺地域については、引き続き、史跡整備事業の計画の中で可能な対策について検討していく。

状況を示す写真や資料等

事業実施箇所



塔ノ島第一排水機場



塔ノ島第二排水機場

	評価対象年度	平成28年度
項目	現在の状況	

建物修景助成事業

実施済
実施中
未着手

事業期間 平成22年度～

支援事業名 市単独事業費

計画に記載している内容 歴史ある沿道景観の保全と形成を促進し、賑わいと風情あるまちづくりが推進される。

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

本市は、特に景観に配慮すべき宇治市景観計画重点区域内の景観重要公共施設(道路)の一部沿道において、良好な景観の形成に著しく寄与すると認められる建築物、工作物、その他(設計費等)について、助成を行うこととしており、平成28年度の申請は4件である。

【定量的評価】
 景観形成助成の件数 : 申請件数 4件
 (参考)27年度 : 申請件数 6件

進捗状況 計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
---------------	--------------------------

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



修景前 (平成28年3月)



修景後 (平成28年11月)

評価軸 - 8
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成28年度
項目	現在の状況	

屋外広告物助成事業	実施済 実施中 未着手
-----------	-------------------

事業期間	平成22年度～
------	---------

支援事業名	市単独事業
-------	-------

計画に記載している内容	景観阻害要因の減少とともに、歴史的な町並みと調和した賑わいと風情あるまちづくりが推進される。
-------------	--

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

本市は、宇治市景観計画重点区域内において、良好な景観の形成に著しく寄与する屋外広告物の整備に対して助成を行うこととしているが、平成28年度の申請は3件である。

【定量的評価】
 景観形成助成の件数 : 申請件数 3件
 (参考)27年度 : 申請件数 0件

進捗状況 計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している 計画どおり進捗していない	
-----------------------------	--

状況を示す写真や資料等



撤去前 (平成27年1月)



撤去後 (平成28年9月)

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成28年度 現在の状況
宇治茶園支援事業			実施済 実施中 未着手

事業期間	平成23年度 ~
支援事業名	市単独事業

計画に記載している内容 減少傾向にある宇治市域の茶園の維持・拡大を進めることや、伝統的栽培方法を推奨することで、生産者の経済的負担軽減と活動意欲を支える。

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

高品質な宇治茶の生産を促進する事業として、宇治茶の伝統的製法である「ほんず」による生産を支援する「伝統技術継承対策」支援事業を行うとともに、茶摘み時期に必要な「お茶摘みさん」の斡旋を支援する「手摘み茶推進対策」支援事業を行い、宇治独特の茶園景観の形成に寄与した。

【定量的評価】

伝統技術継承対策事業の実施件数 : 19件(363.6a)
手摘み茶推進対策の実施件数 : 32件

進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
計画どおり進捗している 計画どおり進捗していない		

状況を示す写真や資料等



伝統技術継承対策事業により支援が行われた「ほんず」と呼ばれる覆下茶園の栽培状況



手摘み茶推進対策事業により実施された「お茶摘みさん」を募集するチラシ

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成28年度
項目	現在の状況	
宇治茶品質向上事業	実施済 実施中 未着手	

事業期間 平成23年度 ~

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 品質向上への意欲増進や栽培・生産技術の向上が図られる。また担い手育成に取り組むことにより、生業の維持が図られる。

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

6月9日に宇治市で開催した宇治市茶品評会、8月3日から京都府で開催された関西茶品評会、8月23日から三重県で開催された全国茶品評会への出品の支援を実施した。

茶品評会への出品を推奨することで、生産者の生産意欲を高めるとともに宇治茶の伝統的製法の継承につながった。

【定量的評価】

茶品評会出品数 / 入賞数 : 129点 / 56点受賞

進捗状況 計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している	
計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



全国茶品評会



宇治市茶品評会

品評会の実施状況

	第70回全国 茶品評会	第69回関西 茶品評会	第49回宇治市 茶品評会
出品数	37	46	46
優等数	/		2
1等賞	3	4	4
2等賞	4	10	2
3等賞	10	12	5
農林水産大臣賞	受賞	受賞	/
産地賞	受賞	受賞	/

		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
宇治茶普及啓発事業		実施済 実施中 未着手	
事業期間	平成23年度 ~		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	市民や来訪者が宇治茶に親しみ、宇治茶を理解することは、お茶のまち宇治の歴史的風致の維持向上に寄与する。		
定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で			
5月15日に開催した「市民茶摘みのつどい」の開催や、10月2日に宇治川河畔一帯で開催された「宇治茶まつり」、「市民素人茶香服大会」等への支援を実施したことにより、多数の市民や来訪者に宇治茶への親しみや理解を深めることに寄与した。			
【定量的評価】 「市民茶摘みのつどい」の参加者数： 約400人 「宇治茶まつり」の参加者数： 約18,000人 「市民素人茶香服大会」の参加者数： 約80人			
進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
計画どおり進捗している 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
市民茶摘みのつどいの開催状況			
			
宇治茶まつりの開催状況			

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成28年度 現在の状況
市営茶室対鳳庵活用事業			実施済 実施中 未着手

事業期間 平成23年度 ~

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 茶文化を体験できる機会を提供することは、市民や来訪者に宇治茶の品質や、茶業全般への関心や理解を促すことにつながる。

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

本格的数奇屋建築の市営茶室「対鳳庵」において、表千家・裏千家・山莊流の3流派による抹茶や、小川流、二条流、瑞芳菴流、方円流の4流派による煎茶の本格的なお点前の実施により、茶文化の体験できる機会の創出とお茶への関心や理解を促す場を提供することができた。

なお、平成26年4月より従来の抹茶の薄茶、煎茶のみのメニューから濃茶と薄茶、玉露と煎茶のセットメニュー及びお点前体験のメニューを追加することにより、利用者の増加や満足度を高める取り組みを行っている。

【定量的評価】

市営茶室でお茶席の利用者数 : 21,329人
(参考)27年度 : 21,632人

進捗状況 計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



茶の湯の用意ができていることを知らせる“在釜”の札をかかげる市営茶室対鳳庵の露地門



本席(三畳向切)において抹茶点前で喫茶の様子

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成28年度
項目	現在の状況	

宇治川鵜飼助成事業

実施済
実施中
未着手

事業期間 平成23年度 ~

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 平安貴族の宇治川見物のひとつであった宇治川の鵜飼は、鎌倉時代に禁止されたのち、昭和初年に復活し、以降宇治川の夏の風物詩として定着している。多くの来訪者を楽しませる鵜飼を継承する。

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

鵜飼事業の実施に支援し、7月1日(金)から9月30日(金)までの出船期間中に乗り合い船、ツアー団体、貸しきり船などで約6,920人の乗船があった。宇治川の夏の風物詩として歴史的風致の維持向上に寄与した。

【定量的評価】

鵜飼船乗船者数:約6,920人(増水・台風のため13日間の臨時休業があり、79日間の営業実施であった。)
(参考)27年度 :約7,066人(増水・台風のため40日間の臨時休業があり、62日間の営業実施であった。)

進捗状況 計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



宇治川鵜飼の実施状況



宇治川鵜飼の実施状況

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成28年度
項目	現在の状況	

宇治十帖スタンプラリー開催	実施済 実施中 未着手
---------------	-------------------

事業期間	平成23年度 ~
------	----------

支援事業名	市単独事業
-------	-------

計画に記載している内容	近世から親しまれる宇治の遊覧の1つ『源氏物語』宇治十帖めぐりを定期的に設けることにより、多くの人に宇治川河畔の歴史的風致に触れる機会が創出される。
-------------	---

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

晩秋の宇治の風情を楽しみながら源氏物語宇治十帖ゆかりの地などを巡るスタンプラリーを5日間(10月22日・23日・29日・30日・11月3日)開催し、宇治の歴史的風致に触れる機会が創出された。
 昨年同様、宇治市宣伝大使「ちはや姫」とご当地キャラクター「チャチャ王国のおうじちゃま」が参加するゆるきゃら(R)ポイント及び京都大学宇治キャンパスに臨時ポイントを設け、本年新たに宇治を舞台にしたアニメ「響けユーフォニアム2特別ポイント」を設け事業を盛り上げた。
 スタンプラリー特別ポイントとしていた「史跡宇治川太閤堤跡」には、5日間でのべ1,015名の参加者が訪れた。石積み護岸の傍にポイントを設け、参加者への説明を随時行い、これからの歴史公園整備への理解を広めることができた。

[定量的評価]
 スタンプラリー参加者数:17,503人

進捗状況 計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している 計画どおり進捗していない	
-----------------------------	--

状況を示す写真や資料等



スタンプラリーのスタンプ帳



スタンプラリー実施の様子

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成28年度
項目	現在の状況	

京都・宇治灯り絵巻の開催

実施済
実施中
未着手

事業期間 平成23年度 ~

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 かつては宇治川の蛍狩りが夏の夜の風物詩として、多くの来訪者で賑わいを見せた。現在宇治川で蛍を見ることはできないが、夜に宇治川河畔を散策する機会を設けることで、かつてのような夜の賑わいの創出につながる。

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

宇治川の鶴飼、植物公園の蛍ナイター、三室戸寺のライトアップや宇治市観光協会の会員13店舗等による行燈の掲出・点灯を継続して実施し、計画に記載している「夜に宇治川河畔を散策する機会を設けることで、かつてのような夜の賑わいの創出につながる。」という一定の効果が発現した。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

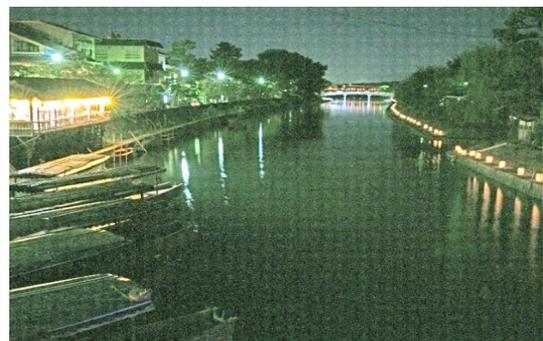
計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

次年度以降も継続し、イベント等に合わせた灯りの演出を検討する。

状況を示す写真や資料等



三室戸寺のライトアップ



宇治川鶴飼のライトアップ

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況
文化財見学会		実施済 実施中 未着手

事業期間	平成23年度 ~
支援事業名	市単独事業

計画に記載している内容 小学生を対象にした文化財の普及・啓発活動は、郷土の歴史と身近な文化財への理解を促すとともに、ふるさと宇治に愛着と誇りを持ち、地域の伝統文化の継承への意識を高めることにもつながるため、次世代へと引き継ぐべき歴史的風致の維持向上に寄与するものである。

定性的・定量的評価(自由記述)	定量的評価は可能な範囲で		
・春の庵寺山古墳の一般公開	平成28年 5月21日(土)	10:00~15:00	約80人
・秋の庵寺山古墳の一般公開	平成28年11月11日(土)	10:00~15:00	約80人
・第26回小中学生の文化財見学会	平成28年11月26日(土)	13:30~15:00	20人
・宇治川太閤堤跡発掘調査現地説明会	平成29年 2月11日(土)	13:00~15:00	約270人

進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
計画どおり進捗している 計画どおり進捗していない		

状況を示す写真や資料等



第26回 小中学生の文化財見学会の様子
(興聖寺で説明を聞いているところ)



秋の庵寺山古墳の一般公開の様子



宇治川太閤堤跡発掘調査 現地説明会

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況

歴史・文化啓発事業

実施済
実施中
未着手

事業期間	平成23年度 ~
支援事業名	文化的景観保護推進事業国庫補助

計画に記載している内容 多くの市民を対象にした歴史・文化の啓発活動は、郷土の歴史と身近な文化財への理解を促すとともに、ふるさと宇治に愛着と誇りを持ち、地域の伝統文化の継承への意識を高めることにもつながる。

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

歴史・文化啓発事業として、文化的景観フォーラム、史跡宇治川太閤堤フォーラム、宇治鳳凰大学への出前講座を開催した。

【定量的評価】

文化的景観フォーラム：2回 H29年3月12日(日) 10:00~12:00、13:30~15:30 参加人数 40人

史跡宇治川太閤堤跡保存整備フォーラム：H28年11月19日(土) 13:30~16:30 参加人数 50人

宇治鳳凰大学出前講座：H29年1月24日(火) 10:00~12:00 約180人

「宇治学」(総合的な学習の時間)での探究的学習や協働的学習をより効果的に行うため、「宇治学」副読本を作成した。

【定量的評価】

「宇治茶のステキをつたえよう」(小学校3年生)

「『ふるさと宇治』の魅力大発信」(小学校6年生)を市内小学校全22校に配布。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している 計画どおり進捗していない	
-----------------------------	--

状況を示す写真や資料等



文化的景観フォーラムの様子 その1



文化的景観フォーラムの様子 その2

「宇治学」副読本 第3学年
指導の手引き



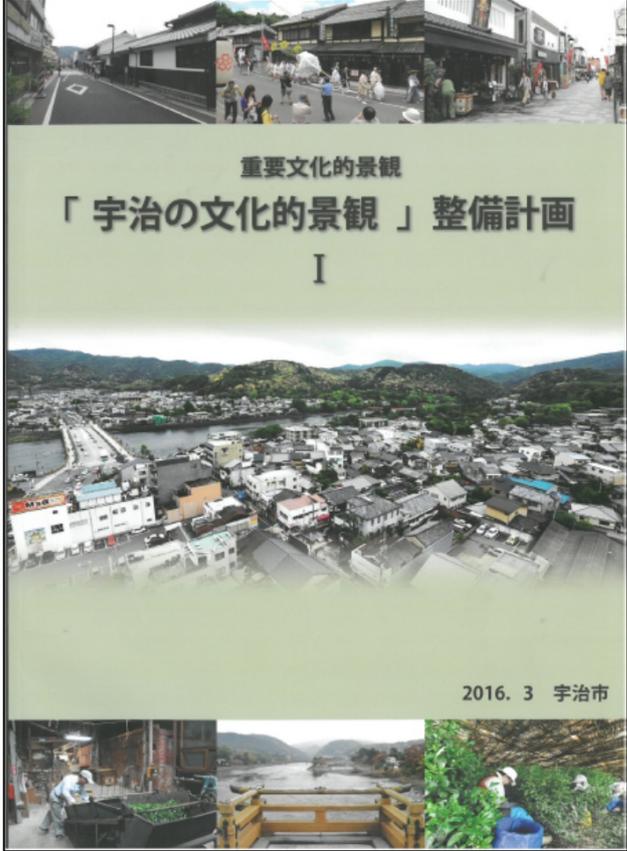
「宇治学」副読本

「宇治学」副読本 第6学年
指導の手引き



「宇治学」副読本
「『ふるさと宇治』の魅力大発信」(小学校6年生)

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成28年度 現在の状況
文化的景観整備計画策定調査			実施済 実施中 未着手
事業期間	～ 平成33年度		
支援事業名	文化的景観保護推進事業国庫補助		
計画に記載している内容	地域の自然・歴史・社会的文脈を保全しつつ、次世代のまちづくりを考える文化的景観の保護の取組は、歴史的風致の維持向上と密接に関わるものであり、整備計画において、重要構成要素に特定された物件を対象に、所有者等の協力を得て宇治地区の街区構造の継承や茶業関係の家屋の修景など整備活用の具体的検討を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で			
平成27年度に策定した「宇治の文化的景観」整備計画の区域拡大(白川地区・黄檗地区)にむけて地元との調整を行った。			
進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
計画どおり進捗している	計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等			
			

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
観光交通対策検討調査		実施済 実施中 未着手	

事業期間	平成25年度～
支援事業名	市単独事業

計画に記載している内容
 観光シーズンになると自家用車が重点区域に集中し、来訪者で賑わう狭隘な道路での安全性の確保や、近年増加している自転車の来訪者への対策が講じられておらず、宇治の風情を損なうことがある。このような交通問題対策として、来訪時と来訪中の移動について総合的に対策を検討し、計画に基づき、様々な事業をパッケージ的に実施することにより、歴史的風致の維持向上を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

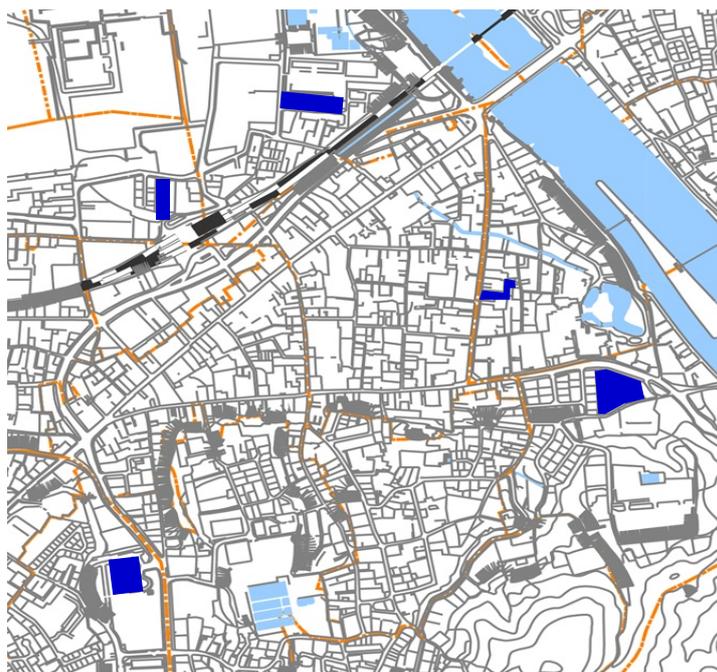
【平成28年度】
 ・平成27年度の効果を確認するため、ゴールデンウィークにおける車での旅行時間の再調査を実施し、平等院周辺での旅行時間に大きな変化は見られなかったものの、宇治橋通り・宇治淀線、京都宇治線で旅行時間の短縮が確認できた。
 ・平等院方面への抜け道となっている市道白川浜山本線への流入を抑制するため、一般財団法人日本デジタル道路地図協会へカーナビでの道案内に関する要望書を提出した。

【今後の予定】
 H29年度にも、車の旅行時間調査を実施する予定としている。

進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
計画どおり進捗している 計画どおり進捗していない		

状況を示す写真や資料等

駐車場利用者アンケート調査の状況(青色の駐車場にて実施:5カ所)



H27.11.22 アンケート調査の状況

項目		評価対象年度	平成28年度 現在の状況
空き町家の活用検討調査			実施済 実施中 未着手
事業期間	平成27年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	伝統的木造家屋を活用することは、賑わいと風情ある町並みの継承につながる。		
定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で			
文教大学と連携し、中宇治地区の伝統的の家屋(325件)を対象とした現在の利用状況の調査を実施し、過去の調査結果と比較することで、伝統的の家屋の利用状況の変化を分析した。 また、空き町家の活用を行っている先進地として郡上市の産業振興公社を視察訪問し、直営施設運営、賃貸テナント運営、賃貸住居運営、ゲストハウス運営など多様な活用事業についてヒアリングを行うと共に、実際の物件の内見を行った。			
進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
計画どおり進捗している	計画どおり進捗していない		

状況を示す写真や資料等

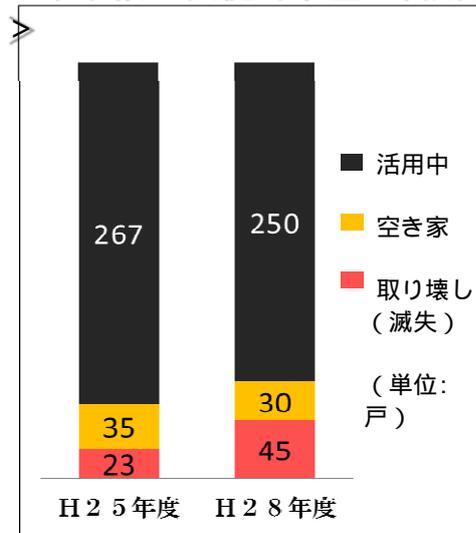


先進地視察 (郡上市 産業振興公社ヒアリング)
(平成28年10月)



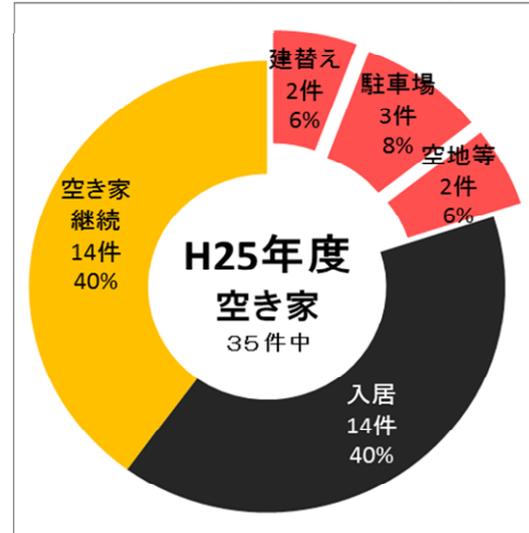
先進地視察 (事業物件内見) (平成28年10月)

< 中宇治の伝統的の家屋の利用状況 >



伝統的の家屋の現状調査結果

< H25→H28 調査した空き家の動向 >



伝統的の家屋の現状調査結果

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況

観光周遊道路の整備検討調査

実施済
実施中
未着手

事業期間 平成28年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 来訪者が歴史に触れながら散策できる快適な道路空間を確保することにより、宇治川周辺の回遊性の向上につながるため、歴史的風致の維持向上に寄与する。

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

平成29年1月31日、京都府観光連盟が実施する観光アドバイザー派遣事業を活用した勉強会を開催した。勉強会には、観光アドバイザーとして旅行業界からツアー旅行等を企画する事業者を招き、庁内からは商工観光課、農林茶業課、道路建設課、交通政策課、歴史まちづくり推進課が参加して、最近の観光需要の傾向についての情報交換や、宇治橋周辺の周遊観光促進のために必要な事項について意見交換を行った。また、宇治市の観光動向調査を平成28年度から2か年で実施中である。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



周遊観光促進のための勉強会

項目	評価対象年度	平成28年度 現在の状況
文化財の修理(整備を含む)		実施済 実施中 未着手

計画に記載している内容	(1)国宝・重要文化財建造物 宇治上神社本殿・拝殿(国宝)は、前回の屋根葺替から拝殿は35年、本殿は30年が経過して檜皮の傷みが顕著になっており、このため国庫補助事業による屋根葺替修理が計画されている。 (2)重要文化的景観 重要構成要素の家屋の修理・修景は、国の補助金の充当を可能とする市の分担金条例に基づき、文化的景観保存活用事業として進めている。
-------------	---

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

- (1)国宝・重要文化財建造物
国宝宇治上神社の修理は平成26年度完了。
(2)重要文化的景観
景観重要構成要素の届出建物修理修景事業の実施件数:1件(修理1件)

進捗状況 計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
計画どおり進捗している 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



修理を行った旧京都府茶業会議所建物(施工前)(平成26年11月)



修理を行った旧京都府茶業会議所建物(施工後)(平成29年1月)

	評価対象年度	平成28年度
	項目	現在の状況

文化財の防災

実施済
実施中
未着手

計画に記載している内容 平成20年に発足した「宇治市文化財まもり隊」の活動は、文化財に対する保護意識高揚と地域の自主防災活動を促し、火災予防の徹底と災害が発生した場合の被害軽減を図っている。

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

文化財まもり隊は、自主消防隊を持つ平等院と、4年前に指定された恵心院以外の指定建造物に対して結成されている。平成28年度の文化財防火デーに行われた文化財防火研究会は萬福寺で行われ、防火訓練では大和田文化財まもり隊と自主消防隊が参加し共同で実施した。

進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
計画どおり進捗している		
計画どおり進捗していない		

状況を示す写真や資料等



防火訓練の様子(平成29年1月)

文化財まもり隊一覧

文化財まもり隊名	対象文化財	指定区分
白山神社文化財まもり隊	白山神社	国指定
宇治上神社文化財まもり隊	宇治上神社	国指定
宇治神社文化財まもり隊	宇治神社	国指定
興聖寺等文化財まもり隊	興聖寺	市指定
巖島神社文化財まもり隊	巖島神社	市指定
八幡宮文化財まもり隊	八幡宮	市指定
十八神社文化財まもり隊	十八神社	国指定
三室戸寺文化財まもり隊	三室戸寺	府指定
許波多神社文化財まもり隊	許波多神社	国指定
大和田文化財まもり隊	萬福寺 蔵林寺	国指定 市指定

	評価対象年度	平成28年度
項目	現在の状況	
文化財の保存及び活用の普及・啓発	実施済 実施中 未着手	

計画に記載している内容 文化財に親しんでもらうことを目的とした市指定史跡庵寺山古墳の公開や小中学生を対象にした文化財見学会、発掘調査報告会、文化的景観フォーラム等を行っており、これらの活動や行事を通じて文化財保護の普及啓発に努める。

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

文化財保護の普及啓発を図るため、次の事業を実施した。

・春の庵寺山古墳の一般公開	平成28年 5月21日(土) 10:00～15:00	約80人の来場者あり
・秋の庵寺山古墳の一般公開	平成28年11月11日(土) 10:00～15:00	約80人の来場者あり
・第26回小中学生の文化財見学会	平成28年11月26日(土) 13:30～15:00	20人の参加者あり
・宇治川太閤堤跡発掘調査現地説明会	平成29年 2月11日(土) 13:00～15:00	約270人の参加

進捗状況 計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
計画どおり進捗している 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



小中学生の文化財見学会

項目	評価対象年度	平成28年度 現在の状況
埋蔵文化財の取扱い		実施済 実施中 未着手

計画に記載している内容 重点区域内には「宇治市街遺跡」、「平等院旧境内遺跡」、「白川金色院跡」、「宇治川太閤堤跡」等の埋蔵文化財包蔵地があり、整備や活用に反映させることとする。

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

二子山古墳は、宇治橋東方の丘陵上にある古墳時代中期の古墳で、昭和43年に発掘調査され豊富な副葬品が出土している。近年古墳周辺で開発計画があり、保存に向けた発掘調査を行い、文化財の申請に向けた準備を進めるとともに、開発事業者と保全の方法について協議を進めている。また、発掘調査の結果に基づき、「二子山古墳フォーラム」を開催し約240名の参加者があった。

進捗状況 計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
計画どおり進捗している 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



二子山古墳発掘調査の様子(平成29年3月)



二子山古墳フォーラム(平成29年3月)

進捗評価シート		(様式1-4)	
評価軸 - 5			
文化財の保存又は活用に関する事項			
項目		評価対象年度	平成28年度
文化財の保存・活用に関わる住民・NPO等の各種団体の状況及び今後の体制整備		現在の状況	
		実施済 実施中 未着手	
計画に記載している内容	お茶どころ宇治の個性を磨くため、宇治茶園の覆下栽培を維持・拡大するための支援事業、宇治茶製法技術保存会への助成事業、「宇治茶まつり」などの実施団体への助成事業など、宇治茶の品質向上・普及に努める農家や団体等への各種支援を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で			
<p>高品質な宇治茶の生産を促進する高品質茶推進事業として、宇治茶の伝統的製法である「ほんず」による生産を支援する「伝統技術継承対策」支援事業を行うとともに、茶摘み時期に必要な「お茶摘みさん」の斡旋を支援する「手摘み茶推進対策」支援事業を行った。</p> <p>また、10月2日に宇治川川畔一帯で開催された「宇治茶まつり」、「市民素人茶香服大会」等への支援を実施したことにより、多数の市民や来訪者に宇治茶への親しみや理解を深めることに寄与した。</p> <p>【定量的評価】</p> <p>「伝統技術継承対策」支援事業の実施件数 : 19件(363.6a)</p> <p>「手摘み茶推進対策」の実施件数 : 32件</p> <p>「宇治茶まつり」の参加者数 : 約18,000人</p> <p>「市民素人茶香服大会」の参加者数 : 約80人</p>			
進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
計画どおり進捗している	計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等			
 <p>伝統技術継承対策支援事業により支援が行われた「ほんず」と呼ばれる覆下茶園の栽培状況</p>			

評価軸 -1
効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
災厄封じ宇治川へ 初夏のまちで勇壮な馳せ馬	平成28年6月9日	城南新報
勇壮に悪疫退散を祈願	平成28年6月9日	洛南タイムス

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

宇治市の維持向上すべき歴史的風致には「遊覧と参詣」「茶どころ宇治」「宇治に伝わる祭礼」の3つを挙げている。「宇治に伝わる祭礼」の歴史的風致として、市の無形民俗文化財第1号(2012年指定)であり伝統的な行事である「大幣神事」が報道された。古式の装束を身に着け中世以来の祭具を持たした大幣の行列が巡行する様子は、宇治で数百年にわたって培われ積み重なってきた歴史の厚みがまちなかに放散されるような風情と賑わいを伝えている。

進捗状況 計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
計画の進捗に影響あり 計画の進捗に影響なし	

状況を示す写真や資料等



町中の災厄を集めた大幣を、宇治橋の橋上から宇治川へ

一ノ坂までの短配を全力で駆け上げる馳せ馬



県神社 災厄封じ宇治川へ
初夏のまちで勇壮な馳せ馬

県神社(田原御一宮)の大幣神事が8日、中学治地蔵を中心に行われ、古式ゆかしい伝統装束に身を包んだ一団が宇治川を渡り、勇壮な馳せ馬を繰り広げ、宇治のまちの初夏を彩った。



県神社で大幣神事

勇壮に悪疫退散を祈願

お旅所前で馳馬神事



古式ゆかしい衣装で行列に参加する地元の子供たち



お旅所前で馳馬神事



お旅所前で馳馬神事



お旅所前で馳馬神事

評価対象年度 平成28年度

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
秋の宇治 歩いて満喫 スタンプラリー開幕	平成28年10月23日	洛南タイムス
まち歩きに胸躍らせる 宇治十帖スタンプラリー開始	平成28年10月23日	城南新報

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

宇治市の維持向上すべき歴史的風致には「遊覧と参詣」「茶どころ宇治」「宇治に伝わる祭礼」の3つを挙げている。現代版の「遊覧と参詣」ともいえる「宇治十帖スタンプラリー」に参加者が年々増え、今回も多数の参加者があるだろうとの期待から初日の様子が報道された。

進捗状況 計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
計画の進捗に影響あり 計画の進捗に影響なし	

状況を示す写真や資料等

まち歩きに胸躍らせる 宇治十帖スタンプラリー開始

宇治の秋を彩る「源氏物語ゆかりの地をめぐる「宇治十帖スタンプラリー」が22日、スタートした。

コースは、宇治十帖の古跡10ポイントを巡る基本コース(約4.5km)と、それに社寺仏閣、観光名所などを加えた全11ポイント(約13.5km)を巡る「健脚」特別ポイントとして「アニス」響け！ユーフォニアム2「放送記念の井川水機場前久美子ベンチ」をはじめ、史跡宇治川太閤堤跡、市植物公園、萬福寺、源氏物語ミュージアムの5カ所のほか、22・23日のみ京都大学宇治キャンパスも公開ポイントとなる。

また、ゴール地点塔の島にゆるキャラポイントが置かれ、「ちはやぶ」のおうじちまのスタンプも置く。

スタンプラリーは、きょう23日と29・30日、11月3日の残り4日間、最終日のみ許波多神社をめぐり通スポットに追加スタンプ台はない。午前9時30分～午後4時(ゴールは4時30分まで)。

宇治橋西詰め「夢浮橋」でスタンプを押す参加者たち

秋の宇治 歩いて満喫 スタンプラリー開幕

源氏物語ゆかりの地をめぐる「宇治十帖スタンプラリー」が22日から、始まった。参加者は寺社や自然を楽しみながら、秋の宇治のまちを歩いた。

市や市教委、柴式部文学賞イベント実行委員会、観光協会による「源氏ろまん2016」の事業の一環。宇治の秋のイベントとしてすっかり定着し、今年で26回目を迎える。

中宇治地域を中心に、世界遺産の平等院や宇治上神社、宇治十帖のちなんだ古跡など21のスタンプポイントを用意している。宇治を舞台にしたアニメ「響け！ユーフォニアム」や史跡・宇治川太閤堤跡などの特別ポイント、ゆるキャラポイントなども設定。モデルとして「基本」と「健脚」の2コースを設けている。

初日のこの日は少し肌寒だったが、京都地方気象台によると、午後2～3時に最高気温20度になり、ウィーキングに良い気候になった。

市内に住む友人と参加した大内清子さん(61)は「奈良市」は「宇治の風景を楽しみながら、ゆっくり歩きたい」と話していた。

スタンプラリーの開催日はきょう23日と29日、30日、来月3日。時間は午前9時30分～午後4時。入場料は午後4時以降は無料。雨は決行。各コースのスタンプを集めた「踏破者」にはオリジナルバッジをプレゼントする。スタンプラリーの問い合わせは観光協会(0774-23-3307)へ。【本好治央】

宇治橋西詰め「夢浮橋」でスタンプを押す参加者(宇治市)

評価対象年度	28年度
法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称:宇治市歴史的風致維持向上協議会	
会議等の開催日時:平成29年4月28日 14:00～16:30	
(コメントの概要)	
<ul style="list-style-type: none"> ・歩行空間整備事業で平等院前の歩道は、日本でトップクラスのものを目指していただきたい。 ・建物修景助成は、望まれる修景のあり方を考える時期に来ていると思う。また、建物修景の事業と文化的景観の事業で齟齬があると困ると思うので、全体としての方針の見直しを考える時期に来ていると思う。 ・文化的景観の指定されているエリアが全国的に増えてきているなかで、本当にやる気のある地域しか助成が出ないという現状がある。 ・市のなかで専門的な人材の育成を進めていただきたい。 ・空き家の問題は伝統的の家屋の問題だけでなく、市全体の深刻な問題となっており、対策を急いでいただきたい。また、本協議会に関連するものは方針だけでなく、具体的な提案をいただき、責任を持って議論していくという流れにならないといけない。 ・空き家の問題は所有者だけでなく地域としてどのように活用していくのか、空き家が放置されたとき地域にとってどのようなデメリットがあるのかも含めて議論できる場が必要である。 ・最近、本協議会では年次進行管理の議論が主なものとなっているが、もう一度、宇治市全体として歴史的風致維持向上計画の位置づけを考える必要がある。 ・政策の内容などについて協議するための少人数の専門部会などの組織があってもよいと思う。開催回数についても、検討していただきたい。 ・手摘み茶推進対策支援で、具体的な事業を考え、計画を追加するような方向性があってもよいと思う。 ・お茶の文化は農業としてのお茶、茶道としてのお茶、庭、建築、お菓子など全体が文化を作っているのので、全体が日本遺産になるとよいのではないかと思う。 ・宇治橋周辺の景観について、二子山古墳がある周辺の山は重要である。 	
(今後の対応方針)	
<ul style="list-style-type: none"> ・歩行空間整備事業で実施する宇治233号線の整備については、来訪者が歴史に触れながら安心して散策できるよう計画を進めていく。 ・空き町家の活用検討調査については、関係課等と連携を図りながら、活用方法について検討を実施していく。 ・これまで様々な講座やセミナー等に参加することで専門的な人材の育成を図ってきており、引き続き、専門的な人材の育成に努めていく。 ・協議会での協議内容や体制等については、最終年度である平成33年度最終評価を見据えながら、より効果的な事業実施が図れるよう検討を行っていく。 ・二子山古墳については、二子山の景観保全に向けての請願が議会でも採択されており、史跡・名勝指定に向けた取組とともに、景観保全に向けた取組を進めていく。 	